



全事研熊本大会だより

KUMAMOTO 2015

第4号 平成26年10月22日

発行 全事研熊本大会実行委員会

熊事研HP <http://ws.higo.ed.jp/jimuken/>

全事研熊本大会HP <http://ws.higo.ed.jp/kenjimuken/>

全事研熊本大会の成功に向けて

実行委員長 宮本和明

来年度の熊本大会も後10ヶ月ということになりました。

今年8月、熊本大会直前の大会となる静岡大会に参加してきました。閉会式において、熊本実行委員会総務部を中心としたパフォーマンスのあと、全事研の大会旗を預かり、静岡大会実行委員長、全事研会長としっかりと握手を交わしました。静岡大会の終わりは熊本大会の始まりであることを実感し、ますます身の引き締まる思いで帰熊しました。

私たち実行委員会は「火の国は 心ワクワク 水湧く湧く 緑あふれる熊本から 深める絆 全国へ」を合言葉に、現在まで順調に準備を進めています。今後はさらに準備状況等を会員の皆様にはわかりやすくご説明するとともに、会員の皆様と共に作り上げる全国大会にしなければならないと考えています。

現在大会運営の準備だけでなく、いくつか留意しながら準備を進めています。まずは分科会を担っていただく、熊本も含めた九州各県の皆様に、実りある分科会を持っていただけるような支援を行いたいと思い、分科会運営部を中心に九州地区役員会で各県ごとに分かれて話し合いを行いました。次に参加者数の目標である2200名の達成のため、九州内の各県研修会でのアピールや実行委員会ホームページでの情報提供も行います。もちろん、熊本の会員の皆様には全員ご出席いただきたいと思ひますし、ご退職された方にも積極的に呼びかけを行いたいと思ひます。

一つ一つ確実に準備を進め、大会当日は熊本県の会員の総力を挙げて、参加者の皆様に最高のおもてなしをしたい・熊本に来て良かったと実感していただきたいと考えています。そのためには今後、皆様に多大な役割分担やご負担をお願いすると思ひますが、ご協力を重ねてお願いいたします。

大会が終わったとき、それぞれの関わりの中での充実感や達成感、全国の参加者との意義ある交流、あるいは今までを振り返り、学校事務職員・学校そのものの未来を考えるための材料等、何かひとつでも皆様の心に残せたら最高だと思ひています。

来年8月5日(水)から8月7日(金)までの三日間、ともに熱い夏を作り上げましょう。



全事研の大会旗を横山全事研会長より受け取りました



挨拶をする宮本実行委員長





～第46回全国公立小中学校事務研究大会静岡大会に行ってきました～

平成26年8月6日（水）～8日（金）に静岡市で開催された全事研静岡大会に参加してきました。実行委員26名が参加し、熊本大会PRブースの運営や1日目夜の祝賀会での熊本大会PRタイム、閉会式での引継式など、それぞれ係の運営の見学も含め大変参考になる視察ができました。とても充実した3日間になりました。

開会前にみんなで記念撮影



ブース設置準備中...



熊本大会PRブースは大盛況!!



豪華なお弁当



閉会式での熊本大会アピール



現在の各部の活動状況をお知らせします



総務部



「静岡大会で熊本の意気込みをPR！」

清水駅から会場へ歩いていると富士山が顔を出し「静岡に来たな！」と実感しました。さあ、早めに行って「熊本ブースを作るぞ」。実行委員幹部の皆さんとともに熊本らしさを十分アピールしたブースが完成しました。「くまモンソング」「応援メッセージパネル」「地産お菓子の振る舞い」「県内の観光ポスター」「くまモンお面」など趣向を凝らしたすばらしい自慢のブースです。本日の熊事研大会でもご披露します。

また、夜の記念祝賀会ではPR活動として「くまモン体操」で会場の視線を釘付けにして、楽しい寸劇で熊本らしさを更にアピールし「熊本2200人参加」を訴えました。きっと全国へその心意気が伝わったことでしょう。

最終日、閉会集会では熊本の観光DVDや構成詩を駆使して最後の訴えです。宮本実行委員長の音頭で「まっとるば〜い！」の締めくくりで会場を後にしました。楽しい一夏の思い出となりました。

あと1年ワクワクドキドキの日々が続きます。

総務部長 前田和美

運営部



熱（暑??）い熊本で開催される全国大会まで、あと10ヶ月をきりました。

大会で、最初に皆様をお迎えするのは運営部（受付）です。笑顔とおもてなしの心を大切にすること、スムーズな会の進行、参加者の皆様に気持ちよく、安心して参加していただけるよう、また参加してよかったと思っていただけるよう「気配り・目配り・心配り」を大切にすること、実行委員の皆さんにも楽しみながら業務をしていただくことを第一に考えながら、1つ1つ運営計画を立てているところです。

この夏、運営部は総勢9名で静岡大会に参加させていただきました。来年の熊本大会を想定して、ステージ裏までお邪魔し、忙しくされている静岡の実行委員の方を質問攻めにしたのですが、皆さんとても親切に対応してくださり感謝！感謝です。

活気のある大会の雰囲気を感じることができ、大変勉強になりましたし、熊本大会への意識も高まりました。

実際の業務を想定し、少し部員も増えているところです。たくさんの方で、少しずつ業務を分担し、無理をせず、まず運営部員が楽しみながら大会に臨めるよう、一人一人の力を結束して組織の力とチームワークでがんばっていきます。



財務部



現在、各部より予算要求をあげていただき、全事研本部に提出する予算書を作成しています。各部の活動が本格化してきましたので具体的な数字があがってきますが、まだまだ、未確定な部分も多くて作成に苦慮しています。

今年の夏は、静岡大会に参加してきました。今回は、特別に運営側を見せていただくことができました。熊本大会に置き換えて考えたり、静岡の財務の方々から直接お話を聞くことができたりと、とても参考になりました。熊本大会をPRする熊本ブースでは、くまモングッズが集客に大活躍で、くまモン人気のすごさを痛感しました。(くまモンに感謝！)

熊本大会も是非多くの方々に参加していただき、最終日、笑顔で帰っていただきたい、そして、私たちも笑顔でお見送りしたいと切に願ったところでした。がんばりたいと思います。皆さんご協力をよろしく願います。



集録記録部



8月6日(水)から8日(金)にかけて全事研静岡大会に参加してきました。

メイン会場となる清水文化会館マリナートは2012年8月に開館した真新しいホールでJR清水駅から徒歩1分という利便性に加え、連絡橋からは世界遺産の富士山を望むことができる素晴らしい会場でした。初日午前中は見ることはできましたが、残念ながらあとは曇り気味で、大会期間中を通して美しい景色を見ることは叶いませんでした・・・。

今回の参加は、来年度行われる熊本大会における担当業務である集録・記録部関係の業務全般を実際に視察することが主な目的です。

ちょうど1年前の石川大会の折、静岡大会の集録や記録の担当をされる研究部長さんと知己を得ることができ、その後数回連絡を取り合っていたため、割とスムーズに視察を終えることができました。

研究集録に関する様々な情報、完成までの道のり、袋詰め作業の大変さ、記録集作成のためのノウハウ、大会1週間前から当日までの動き、記録のとり方、音声データのやり取り、全事研との連絡調整、表には出てこない舞台裏の隠れた努力の数々・・・

大会期間中の忙しい状況にもかかわらず、各係長さん、関係するスタッフのみなさんから親切・丁寧にたくさんのお話をいただきました。

自分たちも来年はこんな立場になるのだという使命感、緊張感。

いまさらながら余計なことに首を突っ込んでしまったなあという後悔感(笑)

静岡大会実行委員のみなさんの笑顔、温かさ。

関係する業者さんや、物販ブースの皆さんの優しさ。

全国から参加された皆さんとの交流、励ましのエール。

これらすべてが思い出であり、来年に向けての貴重な財産になることでしょう。

「来年度も素晴らしい研究集録や記録集を全国の皆さんにお届けします！」と宣言し、自らの首を絞めてしまった手前、もう後に引くことはできません。

帰ってきてすぐに静岡からいただいたデータを検証し、現在は編集計画の見直し、必要人員の把握、モデル案の作成、会場の下見、録音機器等の確認、会場音響担当者や印刷業者との打ち合わせ等を行っている状況です。少しずつ前に進みながら、集録・記録部のスタッフとともに残り1年ちょっと頑張ることにします。



分科会発表部



平成26年度は、7回の部会を開催しました。その中で、研究のテーマ、方向を決めるための論議を行ってきました。助言者の日渡先生から数回にわたる指導・助言をいただき、仮テーマを「教育課程と裁量予算」に決定しました。このテーマを切り口に、未来の学校像を創りながら学校事務職員の未来像について提案します。今後の予定としては、5月初旬に、研究の資料とするためのアンケート調査を、全県下の小中学校事務職員を対象に実施いたします。ご協力をお願いします。レポート完成まで、1年足らずとなりました。部員一同今まで以上に、ピッチを上げて取り組んでいきたいと思ひます。



広報部



9月上旬に第1回広報部会を開催しました。新メンバーが2名加入し、全員顔を揃えて話し合いをすることが出来ました。

これまでの活動経過報告、静岡大会視察報告、またPR紙作成、HP運営管理、全事研熊本大会たより発行、大会速報発行の各係の業務分担の確認を行い、今後の業務計画について話し合いました。その中でも大会当日の大きな業務である速報発行に関することに時間をかけて話をしました。静岡実行委員広報係の仕事を見せていただき、事前の準備や当日の動き、原稿の書き方、会場での立ち位置等大変参考になりましたし、忙しい中丁寧に教えていただきました。来年の熊本大会で生かしていきたいと思ひます。

今後はHPの運営管理、大会当日の速報発行が広報部の大きな業務となります。特に速報発行は、みな初めて行うことですので少しずつ研修していこうということになりました。

熊本大会まで10ヶ月となりました。みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思ひます。

学校事務のミッション 子どもの豊かな育ちを支援する学校事務
第47回 全国公立小中学校事務研究大会
大会テーマ 「カリキュラムマネジメントの展開と学校づくり」 **熊本大会**



記念講演 (葉祥明 氏)

葉祥明【本名:葉山祥明】(絵本作家・画家・詩人)。1946年熊本県に生まれる。創作絵本『ぼくらのペンにしよういり』でデビュー。1980年創作絵本『かぜとびとら』でボニーヤ国際児童図書展クワック賞受賞。1991年、北條薫に師事。代表作『2002年、葉祥明阿蘇県芸術館を開設。熊本「ゆめ」でなく花をくさす』、『イルカの星』など多数。http://www.yoshinomei.com

熊本大会ホームページ
URL: <http://ws.higo.ed.jp/kenjimuken/>

携帯サイトは
こちらから▶▶



全国公立小中学校事務研究大会熊本大会



主催:全国公立小中学校事務職員研究会
主管:熊本県学校事務研究協議会

静岡大会で第2弾PR紙を
配布してきました!!



いま、第3弾を
作成中です★



分科会運営部は、9月5日（金）にユースピア熊本で開催されました九州地区役員会で、40分間、分科会発表予定の九州各県の会長・事務局長・研究責任者等役員と分科会運営部各県担当者の顔合わせ会を実施しました。各県の全国大会の分科会発表にむけての準備の進捗状況は様々でしたが、それぞれ分科会での研究発表は意欲満々な様子で熱気が伝わってきました。和気藹々とした顔合わせ会になりました。研修会后、ほぼ全員参加で懇親会も実施され、良好なスタートをすることができました。

分科会発表各県から9月19日締め切りで「分科会担当者等報告書」を提出していただきました。9月には各部必要経費調査もあり、分科会で使用する機器や備品、助言者旅費他の報告をしました。11月21日に予定されている全事研役員会場下見に向け各会場詳細図他の資料を準備中です。今後、大会開催要項の分科会原稿準備、分科会マニュアル作成、平成27年6月12日に予定されている分科会運営研修会案内や準備等チームワークよく協力してがんばっていきたくと思います。各分科会のテーマ等を掲載させていただきました。分科会運営は、7会場のため、当日はたくさんの役員が必要です。熊事研全員で作りあげる全国大会にしましょう。ふるって当日役員のご協力をどうぞよろしくお願いします。

分科会運営部長 今坂文枝

7つの分科会の担当支部および分科会場が決まりました！どの分科会も興味深い内容です。私も全部の分科会に是非参加してみたくくなりました。
ご紹介させていただきます！！

- ① 分科会・支部 本部研研究分科会・全事研本部
- ② 会場 熊本県立劇場コンサートホール
- ③ 分科会テーマ
カリキュラムマネジメント(仮題)

- ① 分科会・支部 第1分科会 福岡支部
- ② 会場 くまもと森都心プラザ ホール
- ③ 分科会テーマ
学校経営ビジョンの実現を担う学校事務と共同実施(仮題)
～ステップアップを図ろう！連携の要となる事務職員を目指して～

- ① 分科会・支部 第2分科会 佐賀支部
- ② 会場 熊本県立劇場 演劇ホール
- ③ 分科会テーマ
アクティブライブー学校事務白熱教室ー
総括事務長・事務長制度による共同実施
・学校事務の確立

- ① 分科会・支部 第3分科会 長崎支部
- ② 会場 市民会館崇城大学ホール
大会議室
- ③ 分科会テーマ
長崎県の事務職員の未来像(仮題)
・・・つなぐ・・・

- ① 分科会・支部 第4分科会 宮崎支部
- ② 会場 熊本県立劇場 大会議室
- ③ 分科会テーマ
宮崎は今 パートV 学校事務の専門性を発揮しよう
～新たな学校事務の構築 その未来像と実践～

- ① 分科会・支部 第5分科会 鹿児島支部
- ② 会場 くまもと県民交流館パレアホール
- ③ 分科会テーマ
「風は南から 鹿事研のチャレンジ」
～子どもの学びにつなげよう！
グランドデザイン～

- ① 分科会・支部 第6分科会 熊本支部
- ② 会場 熊本市国際交流会館 ホール
- ③ 分科会テーマ
裁量予算と教育課程（仮題）



事務局



熊本大会まであと287日!

8月に開かれました全事研静岡大会へ総勢26名の実行委員が参加して来ました。来年の熊本大会を開催するための運営のノウハウを、直接、静岡大会実行委員の方々から伺い、自分の目で確かめる実行委員の姿は頼もしく、熊本大会の成功を確信することが出来ました。

総務部で発案した熊本大会シンボルマークの入った赤のポロシャツを、全員で着ることにより、全国の皆様へ「熊本」を印象付けることが出来たのではないかと思います。

11月には、いよいよ全事研本部役員のみなさんが熊本に来られるので、全体会会場を始め熊本大会で使用する予定の会場を案内します。その後、実行委員と大会開催に向けて打ち合わせを行う計画です。

事務局では、全国から来られる2,200名の参加者の方々に、安全で気持ちよく、またどのように熊本を楽しんでいただくか、いろいろな方面にアンテナをたてて情報収集しています。熊本県の会員の皆様には役員としていろいろな形で大会運営に携わっていただくこととなりますが、どうか楽しみながら全国各地の方々と情報交換していただきたいと思っています。

現在、熊事研HPが旧サイトから新サイトへ移行しました。
また、全事研熊本大会HPが開設しています。
これからも熊本大会開催に向けた情報を随時発信していきます。
よろしくお願いいたします!

熊事研HP <http://ws.higo.ed.jp/jimuken/>
全事研熊本大会HP <http://ws.higo.ed.jp/kenjimuken/>

